

2010年01月16日（日）

空手道で一番苦しかったこと

西東京本部 浜田山支部
巽 悠太

私が空手道で一番苦しかった事は、今回の一般初段までの道のりです。

私は中学三年生から大学一年まで空手を一時的にやっていませんでした。そのため三年間の間に型をほとんど忘れてしまっていました。それでも型としてぼんやりと覚えていたのですぐに型だけは何とか出来るようになりました。しかし覚えたつもりでも間違っていたり、前と変わってしまっている部分が多く逆に自分の中に曖昧に残っている記憶に振り回されてしまいました。それでも一度は出来ていた事であったので少しずつ間違いを修正して身につけていきました。しかし、三年間いない間に新しく増えた捌き拳法には大苦戦でした。始めて見たという事もあったのですがそれぞれの技の型が似ていたので区別が難しく混乱してしまいました。

他には大学との勉強の両立が大変という事がありました。それでもいつかはこの時の事が自分に対して誇れる事になっていくと思います。